

# 令和3年度の主な事業

## 安全安心な兵庫づくり

### 新型コロナウイルス感染症対策

#### 医療提供体制の確保と検査体制の強化

安心して入院・宿泊療養できるように、感染状況に応じて入院病床や宿泊療養施設を確保、運営します。社会福祉施設、医療機関などで陽性者が確認された場合、関係者に対して幅広く検査を実施し、クラスター化の防止を図ります。感染再拡大の予兆を早期に探知するためのモニタリング検査も実施します。

#### ワクチン接種

高齢者や基礎疾患のある人など住民向けの接種を行う市町とも十分に連携を取り、円滑な接種を目指します。安全性や有効性に関する専門相談窓口も設置し、県民の不安解消を図ります。

### 防災・減災対策

#### 防災・減災、国土の強靱化対策

防災・減災、国土強靱化対策が、5カ年15兆円の規模で延長されました。多発する風水害や南海トラフ地震に対する防災・減災対策などに積極的に活

用します。津波、洪水、高潮、土砂災害、ため池などの事前防災対策を加速させるほか、道路ネットワークの強化やインフラの老朽化対策にも重点的に取り組めます。



福良港の湾口防波堤（南あわじ市）

#### くらしの安心確保

#### 雇用の維持・確保

1200人分の緊急的な雇用を確保し、離職を余儀なくされた人を支援します。IT分野を拡充するとともに、人手不足の建設分野に関する職業訓練を新たに実施します。在籍型出向などにより雇用継続を図る取り組みも支援します。男女共同参画センターに支援員を配置し、ハローワークなどと連携して、離職した女性の再就職をサポートします。

## 交流の新展開

### 五国の交流、魅力発信

#### 五国の再発見と交流促進

初代県庁館のオープンを機に、五国の理解を深めるフォーラムを開催します。



初代県庁館の外観イメージ図

のキャンペーンを展開し、五国の逸品・絶品を多くの人に届けます。

### 新たなツーリズムの創出

#### 新たな観光モデルの創出

新たな体験・周遊滞在型ツアーを造成します。鉄道事業者と連携した観光キャンペーン、瀬戸内クルーズのモデル実施、県内空港の国内線就航先との相互送客ネットワークの構築などに取り組めます。

### GO TO トラベル後の観光需要喚起

GO TO トラベル後の観光需要の急激な落ち込みを回避するため、宿泊割引や温泉地のおみやげ券の進呈により、誘客を図ります。

## 兵庫の強みを活かした産業の育成

### 地域を支える産業の振興

#### 中小企業・事業者支援

新型コロナウイルス感染症による経済的影響の長期化を見据え、当初予算としては過去最大の8千億円の融資枠を確保します。無利子・無保証料資金の融資制度終了後も経営改善などに取り組む企業を支援するため、保証料の約4分の3を補助する融資制度を創設します。事業再生や再起業のための資金も、対象要件の拡充や融資期間の延長を行います。

飲食店などの感染防止対策、デリバリー等への参入を、引き続き

のキャンペーンを展開し、五国の逸品・絶品を多くの人に届けます。

### 新たなツーリズムの創出

#### 新たな観光モデルの創出

新たな体験・周遊滞在型ツアーを造成します。鉄道事業者と連携した観光キャンペーン、瀬戸内クルーズのモデル実施、県内空港の国内線就航先との相互送客ネットワークの構築などに取り組めます。

### GO TO トラベル後の観光需要喚起

GO TO トラベル後の観光需要の急激な落ち込みを回避するため、宿泊割引や温泉地のおみやげ券の進呈により、誘客を図ります。

### 農林水産業の基幹産業化

#### 農林水産業のスマート化

施設園芸のさらなる生産力強化を図ります。栽培環境を最適化する環境制御技術の導入を促すため、助成対象の要件を緩和するとともに、より柔軟な制度に見直します。

#### ドローンによる農薬散布や森林測量など、技術実証と普及・定着に取り組みます。

### 豊かで美しい瀬戸内海の再生

漁業者による海底耕うんに

### 持続可能な地域環境の創造

#### 地球温暖化対策の強化

温室効果ガス排出抑制計画の作成・提出や措置結果の報告を義務付ける対象事業者を、中小企業などに拡大します。

創エネ・省エネ設備の導入や、工場などの屋根への太陽光パネル設置に伴う改修を支援し、取り組みを強化します。

# 新たな兵庫への道筋

## デジタル化の本格的推進

### ICTを活用した地域課題の解決

「兵庫情報スーパーハイウェイ」の運用により、本社機能の移転やIT関連のスタートアップ企業の進出、テレワークなど働き方改革を後押しします。ドローンを活用した新事業展開、障害者の在宅ワーク促進、環境制御技術の導入などスマート農業の推進、オンラインによる医療支援など、ICT（情報通信技術）利活用の恩恵を身近に感じられるスマート兵庫の構築を目指します。

## 変化に強い産業構造への転換

### スタートアップの創出

ビジネスプランを資金や販路につなぐピッチコンテストを開催し、起業の初期段階での資金需要に対応するファンドを創設します。国連プロジェクト・サービス機関（UNOPS）によるSDGsの課題解決に向け

たビジネスモデルを支援するなど、ひょうご発のスタートアップ・起業の創出、育成を本格化させます。

### 次世代産業の育成

企業のデジタル技術導入による経営革新を促すため、新産業創造研究機構（NIRO）による相談窓口の設置や社内人材の育成講座を実施します。

AI（人工知能）・IoT（モノのインターネット）、健康・医療などニーズの高い分野への業種転換や求職者のキャリアアチェンジを促すため、専門家の派遣やマッチング支援を行います。産学官連携による立ち上がり期の研究プロジェクトを応援するCOEプログラムの対象を広げるなど、支援を拡充します。

### 富岳の産業利用

スーパーコンピュータ「富岳」が本格稼働しました。富岳の産業利用を促進するために、FOCUSスパコンによる企業技術の高度化、富岳と同じ中央演算処理装置を搭載したミニ富

岳によるお試し体験など、立地を生かした県内企業の富岳の利活用を後押しします。



スーパーコンピュータ「富岳」(提供:理化学研究所)

## 地方回帰を促す環境整備

### 移住・定住の推進

カムバックひょうごセンターは、兵庫・東京に加え、大阪にサテライトを開設します。関西の移住先として人気が高い兵庫への移住を後押しします。本格的移住の前に行うお試し移住やテレワークも、引き続き支援します。

### 県内就職の促進

首都圏の就職相談窓口カムバックひょうごハローワークをひょうご移住プラザに移転し、移住相談窓口との機能集約による円滑な県内就職につなぎます。

移住・就職へ結び付けるため、短期滞在と就業体験を併せて<sup>あっせん</sup>斡旋、支援します。

転出超過が続く女性への働き掛けを強化します。女子学生などを対象に、県内企業のロールモデルとの交流会の開催、ものづくり分野への就業を促す業務仕分けの普及啓発に取り組めます。再就業や起業に向けた、相談から能力開発、職業紹介に至る体系的な支援も充実します。

### 企業立地の促進

産業立地条例による支援は、ほぼ全ての業種を対象としました。併せて、法人事業税の軽減を拡充し、サプライチェーンの強化・再構築を目指す事業者への支援も強化しました。支援制度も広くPRし、誘致を図ります。

## 持続可能な行財政構造の確立

新型コロナウイルス感染症に伴う税収減により、4年度から9年度にかけて、総額330億円の要調整額が生じる見込みです。ストック指標でも、防災・減災、国土強靱化対

策を加速させることもあり、県債残高比率や将来負担比率は財政運営目標を上回るが見込まれます。このため、行財政運営方針の3年目の見直しに際して、同感染症の感染状況や経済動向などを十分見極め、財政フレームの検証など必要な見直しを行います。厳しい財政状況を踏まえ、特別職の給料および一般職の管理職手当の減額率を引き上げます。

## 大規模プロジェクトの進捗調整

県庁舎等再整備基本計画は、新型コロナウイルス感染症の状況や経済情勢などを踏まえて2年度予算を繰り越し、引き続き策定作業を行います。阪神南県民センターと阪神北県民局の統合に向けた庁舎整備は、着工を1年遅らせませす。但馬空港の機能強化は、航空需要の動向を見極め、慎重に検討します。

大規模アリーナの整備は、将来、県内にどのようなスポーツ・集客施設が必要となるかなど論点を整理し、慎重に整備の可能性を検討します。

# 多様な兵庫人材の活躍

## 次代を担う人材の育成

### ICTを活用した教育の展開

義務教育段階の1人1台端末、県立学校の無線LANやネットワーク接続回線の増強

など、ハード面の整備を進めてきました。人との関わり合いや体験を大切にしたい学びを基本としながら、こうした基盤も活用し、学びの質の向上を図ります。



1人につき1台、端末を整備

さらに詳しくは

## ひょうごEYE

令和3年度の県政の重点政策や概要を分かりやすく紹介した冊子です。県広報戦略課、各県民局・県民センターなどで無料配布しています。配布希望者は住所、氏名、電話番号、希望部数を〒650-8567（住所不要）、☎078(362)3903で県広報戦略課☎078(362)3019へ。

